

令和4年度当初予算 復活見積調書(部長)

上下水道部

(金額:千円)

■ 水道事業会計・下水道事業会計

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		内示額		復活見積額	財 源 内 訳					査定額	財 源 内 訳					査 定 果	
						一財	二財	一財	二財		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1	上下水道総務課	料金調定及び事業全般/下水道推進費	公営企業会計システム改修費	今回の改修により、業務効率化を図り、また正確性を高めることができます。さらに、時間外勤務を削減することにより、職員の負担軽減および人件費の削減を図ります。	4月 見積徴収 5月 契約締結 6月 機能追加設定作業 7月 機能追加設定作業 8月 システム稼働(企業債管理) 9月 システム稼働(予算編成)	7,524	7,524	964	964	6,560						6,560						6,560	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
2	上下水道総務課	料金調定及び事業全般/下水道推進費	アドバイザー業務委託	市における決算処理や決算書類の作成、消費税申告書の作成について専門家の確認を得ることで、正確性を高めることができます。これまで会計処理に係る相談業務のみ支援を受けていましたが、今回からは業務を拡大し、より支援を受けやすい体制を整えます。また、業者選定については指名競争入札とし、価格競争を促すことにより、低廉な価格での業務委託を想定しています。	4月 見積徴収 5月 契約締結	1,815	1,815	1,430	1,430	385						385	0					0	部長間調整により、他事業との優先度、課題整理の状況から、措置しませんでした。
3	上下水道総務課	料金調定及び事業全般/下水道推進費	会計年度任用職員(一般事務)	水道お客様センターの業務委託が令和6年1月で満了するにあたり、委託の拡大等、業務について検討を行います。また、会計事務の効率化を図るために、会計システムの改善・見直しを行う必要があり、通常業務である決算書の作成等は短時間で多くの業務を行う必要があることから、通常業務に対する支援が必要不可欠であるためです。	-	2,145	2,145	0	0	2,145						2,145	0				0	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	
4	上下水道総務課	料金調定及び事業全般/下水道推進費	新水道料金システムリース料等	上下水道料金に関連する業務については、システムの活用により、作業の軽減や処理ミスの防止を図り、料金関連事務の正確性を高めることで、業務の効率化やサービスの向上を図るものです。	R3.12~R4.1 プロポーザル事前協議、審査委員会設置 R4.2~3 プロポーザル実施起案、公示 R4.4 募集・業者決定 R4.5 売価決定 R4.6 契約締結、システム設計・構築(~R4.11) R4.12 並行稼働・テスト運用 R5.3 新システム本稼働	5,302	5,302	4,124	4,124	1,178						1,178	-1,008					-1,008	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
5	上下水道総務課	受益者負担金等賦課徴収費	ゆうちょBizダイレクト利用料	現在、ゆうちょ銀行での納付状況の提供について、利用料のからないMTサービス(DVD)を利用しているが、ゆうちょ銀行の料金改定により、R4.2月分から、月額料金が必要となることから、他の納付状況提供サービスとの利用料金を比較検討し、より安価な「ゆうちょBiz」に変更するものです。	R4.2~ ゆうちょ銀行手数料改定 R4.4~ ゆうちょBiz利用開始	0	0	0	0	252						252	252				252	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	

令和4年度当初予算 復活見積調書(部長)

上下水道部

■ 水道事業会計・下水道事業会計

(金額:千円)

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		内示額		復活見積額	財 源 内 訳					査定額	財 源 内 訳					査 定 果							
						一財	二財	一財	二財		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源								
6	ロクハ浄水場	上水供給事業	浄水場施設等運転管理派遣業務	本業務は、浄水場運転管理に携わる正規職員(現業職員)が休暇を取得した際に、スポット派遣によって欠員を補うためのものです。24時間2交代の運転管理体制を維持することで、安定した水の供給を行うことを目的とします。また、技士10名のうち1名が欠員となったため、不足分について本業務にて補うものです。	令和4年3月 見積徴収 令和4年4月～業務実施 (必要時に逐次手配)	0	0	0	0	7,348						7,348	7,348						7,348	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。					
7	上下水道施設課	配水及び給水事業費、配水管移設事業費、配水管更新事業費	無電柱化事業に係る移設工事等	宮町渋川線の配水管φ300(L=770m)について、無電柱化事業と併せて配水管の移設を実施するものです。	令和4年度出来高払 令和5年度完了払 配水及び給水事業(3条) 移設・受託工事に伴う給水工事 7,138,000円 配水管移設事業費(4条) 工事請負費 47,495,000円 配水管更新事業費(4条) 工事請負費 5,871,000円	60,504	31,101	0	0	60,600							0					29,808	30,792	0	29,808	30,792	0	政策的な判断等を要するため、市長査定としました。	
8	上下水道施設課	配水及び給水事業費、配水管更新事業費	【R3債務負担行為】西大路町他配水管更新工事、下笠町他配水管更新工事 【R4債務負担行為】下笠大路井線配水管更新工事、笠山5丁目他配水管更新工事	・債務負担行為を活用することで、事業の標準化を図ることを目的としており、また、第2次水道ビジョンに基づく管路の更新率や耐震化率を達成するため、本工事は、必要なものです。	【R3債務負担行為】 西大路町他配水管更新工事 下笠町他配水管更新工事 (令和3年度発注 令和4年度施工) 【R4債務負担行為】 下笠大路井線配水管更新工事 笠山5丁目他配水管更新工事 (令和4年度発注 令和5年度施工)	260,534	260,534	0	0	242,200						242,200	242,200							242,200	242,200	242,200	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。		
9	上下水道施設課	配水管更新事業費	水道台帳システム改修費	今後の給水収益の増加が見込めない中、中長期的な視点を持った事業運営が必要となることから、管路管理システムと連動した管路評価支援システムを活用することで、効果的な改築更新を図ることができ、安定して上水道事業に繋がるシステムを構築するものであります。	令和4年度にデータ(水理解析モデル、診断データ整備)の入力作業を行います。	7,293	0	0	0	7,293						7,293	7,293								7,293	7,293	7,293	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	
10	上下水道施設課	公共下水道整備事業費	社会資本総合整備事後評価業務	下水道事業において、各事業完了後の成果を客観的に調査・検証し、必要に応じて改善措置を検討の上、評価の結果を事後評価手法の見直し等に反映するための業務です。	H28～R3 各事業の実施 R4 事後評価業務 R4.12 国土交通省へ事後評価結果の提出	5,640	5,640	0	0	3,520						3,520	3,520								3,520	3,520	3,520	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	
11	上下水道施設課	公共下水道整備事業費	汚水管渠整備費 ストックマネジメント【防災安全】	老朽化する膨大な下水道ストックを適正に管理するために点検・調査・改築・修繕を一体的に捉え施設を計画的・効率的に管理するストックマネジメントの考えを導入し、計画的な施設の更新を進めております。	管渠整備費 (今回変更箇所) ストックマネジメント【防災安全】 マンホールポンプ更新工事 (ポンプ4箇所) 前倒執行 管渠工事 前倒執行 ※令和3年度追加補正	64,980	985	64,890	985	-48,990	-21,200					-27,130	-660	-48,990	-21,200						-27,800	10	-27,800	10	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
部合計						415,737	315,046	71,408	7,503	282,491	-21,200	0	-27,130	29,808	301,013	217,175	-21,200	0	-27,800	0				266,175					